

令和7年9月竜王町定例教育委員会会議録

開催日時 令和7年9月30日(火) 午後3時57分～午後5時15分
開催場所 竜王町総合庁舎2階205会議室
出席者 教育長 甲津和寿
委員 谷康夫
委員 川部由紀子
委員 櫻井絵里子
委員 中島薰
事務局 森岡教育次長、沖教育総務課長、山中学校教育課長、
山中生涯学習課長、奥教育総務課長補佐兼教育総務係長

開会時刻 午後3時57分

閉会時刻 午後5時15分

会議日程 以下のとおり

- 日程第 1 その他 1) 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について
2) 令和7年第3回竜王町議会定例会一般質問について
3) 第79回国民スポーツ大会の開催について
4) 連絡事項

議事要旨 以下のとおり

【会議の内容】

沖教育総務課長 皆さん、こんにちは。皆さんお揃いですので、ただいまから9月の定例教育委員会を開催させていただきます。町民憲章の唱和をお願いしたいと思いますので、ご起立をお願いいたします。前文は私が読み上げますので、一つからご唱和をお願いいたします。

(町民憲章 唱和)

ありがとうございました。ご着席ください。

それでは、会議の開会にあたりまして甲津教育長からご挨拶をいただきたいと思います。

甲津教育長 皆さん、こんにちは。

今日は、9月の最終日となり、今日で上半期が終わります。

上半期の状況をしっかりと把握して下半期に向けて取り組んでいきたいと思います。

いよいよ今週末に国民スポーツ大会スポーツクライミング競技会が本町で開催されます。

5日には、愛子内親王殿下がお越しになる予定です。職員を挙げて準備をしています。

28日には、HATOスタジアムで総合開会式が開催され、出席させていただきました。

滋賀県らしい、温かい開会式でした。本町でも3日から競技会が開催されます。立派な大会となるように最終の詰めをさせていただいております。

さて、猛暑、酷暑という言い方も当たり前になり、災害級の暑さとか命にかかわる暑さといった表現もされた夏休みでしたが、町内の子どもたちや学校、地域に大きな事がなく2学期を無事に始められ、はや1か月が経過しようとしています。

2学期スタートから様々な行事が目白押しです。

小学校では、5年生のフローティングスクールがありました。

5日には中学校2年生のチャレンジウィーク発表会がありました。

19日の中学校の輝龍祭については、駐車場確保と暑さ対策に苦労されましたが、十数年ぶりに竜王中学校グラウンドでの体育祭開催でした。短時間決戦でしたが、大いに盛り上がりました。

18日、19日には、竜王小学校6年生の修学旅行があり、兵庫県方面に防災の学習をしてまいりました。

この他、こども園の園外保育や小学校の校外学習、両小学校での稻かり体験等々、暑さの続く中、予定通りでてきております。

また、先月にはなりますが、25日NHKのラジオ体操会をドラゴンハットで開催したところ、900名の参加があり、大いに盛り上がりました。

9月13日には、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ応援フェスとして、竜王町出身の国スポ・障スポ選手、滋賀県代表のスポーツクライミング競技代表選手の壮行会と炬火イベントを行いました。

議会につきましては、第3回の定例会が9月2日から29日まで開催されました。

その中で今回は、一般質問で教育委員会に関する質問がたくさんあり、特に学校教育に関する質問がたくさんありましたが、学校教育課長を中心に私も答弁してきました。

後ほど報告があろうかと思いますので、お聞きいただければと思います。

ここで、改めて委員の皆さんにお知らせさせていただきます。

今日まで2期8年間の教育委員を務めていたいた川部由紀子委員さんが、他の任務もたくさんお引き受けいただきおり多忙な状況もあり、ご本人のご意志もあり、今日9月30日をもってご退任されることになりました。

川部委員さんには、会議終了後一言ご挨拶をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

後任の白井さんは、現在68歳で、これまで竜王町子ども会連合会の会長を歴任されるとともに、現在、竜王町青少年育成町民会議の会長を務めていたいたり、竜王町の子どもたちの健全育成を中心に社会教育の振興発展にご尽力いただいております。

この度、教育委員をぜひともお願ひしたいとお伝えし、ご快諾をいただきました。

白井さんには、明日10月1日から4年間務めていただくことになります。

川部委員さんにおかれましては、違った形でご指導ご鞭撻を賜りたいと思います。

それでは本日の会議、最後までよろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。

それでは提案事項に入りたいと思いますので、教育長よろしくお願ひします。

甲津教育長　　日程第1　その他　1) 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について、事務局

から説明をお願いします。

山中学校教育課長 (説明)

甲津教育長 学校教育課で結果を踏まえた分析を行いました。

これを基に、保護者に向けて、啓発するためのリーフレットを作つて改善するための取組をしていく予定です。

小学校は、良い傾向であります。中学校は、全国平均に迫る状況でしたが、今年度は、このような結果がありました。

しかし、学習時間や読書時間は全国と比べてもかなり低いという状況であります。

感想などありますでしょうか。

櫻井委員

学校以外の勉強の時間についてですが、宿題が出されていると思うのですが、家で宿題をしたとしても学習時間は確保できていないということでしょうか。すべての学校で、宿題は出しているのでしょうか。

山中学校教育課長

担任によりますが、基本的に宿題は、出しています。

櫻井委員

小学校の間は、宿題に親が関わることもあり、子どもの状況（理解度）を把握できているといいます。

子どもが一人で宿題をやっているという状況であれば、宿題の持つている意味が変わってくるのではないかと思います。

谷委員

振り返る時間を取りっていないということや読書時間が少ないということは、能力というよりも習慣になっていないことが、課題であると思います。

家庭内での見守りも必要であると思いますし、周りが、気を付けていかなければならなりません。大いに結果を保護者にアピールしてほしいと思います。復習ができているかどうかということは、今後の受験にも影響するため、しっかりと対応していかなければなりません。

甲津教育長

啓発をしていますが、我がごととして子どもの中に定着していないという状況です。

中島委員

分析とまとめをされていることは、感心します。私どもは、今年度においては、学力学習状況調査について、このように活用しきれないため受験していません。

データを基に分析され、課題を明らかにするということをされています。これを基に何を重点課題として取り組むのかということを、家庭に提示していくると思います。

川部委員

以前から竜王町の読解力が課題だということが言われていました。読書が好きな子は、本を読みますが、全く読まないという子どももいます。全体でみれば、読書する子が少ないという状況です。

家に帰れば、スマホとゲームをするという習慣になっているのではないかと思います。

新聞には、時事問題が掲載されており、子ども向けの新聞を購読するということも有効であると思います。こども新聞の購読に関して、町が補助するということもよいと考えています。

新聞を通して、家庭内での話題ができると思います。

スマホがあれば、ネットを通じて様々な情報が得られますが、誤った情報もあります。生まれたときからスマホがあり、スマホから情報を得ることが当たり前になっているため、誤った情報であるということを知るためにいろいろな情報に触れる必要があります。新聞であ

れば、もう少し客観的な内容であると思います。

新聞の内容を写したり新聞を読むことが学習につなげられるような取組があってもよいと思います。

甲津教育長

新聞を読むという文化は、とても大切であると思います。新聞を読むと時事問題を把握することができます。学力向上の一助になります。また、習慣化できるとよいと思います。

ご意見をいただいたことについては、活かして取り組んでいきたいと思います。

現状を踏まえると、身の回りのことについて、しんどいけど少し我慢して頑張るということを竜王町の子ども達にも身に着けてもらいたいと考えています。

今年度の教育フォーラムでは、オリンピックのメダリストの乾友紀子さんに来ていただきお話をさせていただきます。しんどいけど頑張ったことによって、どのようなことが起こるのかを伝えてほしいと考えています。

スポーツ少年団等目標を持って頑張っている子ども達や保護者の方にも聞いていただきたいと思います。

次に移らせていただきます。

日程第1 その他 2) 令和7年第3回竜王町議会定例会一般質問について、事務局から説明をお願いします。

山中学校教育課長

(説明)

山中生涯学習課長

(説明)

甲津教育長

委員の皆様から何かご質問等は、ございますでしょうか。

櫻井委員

防災教育に関してですが、今まで竜中学校の1年生は、校外学習で神戸方面を訪問していました。しかし、今年の1年生は、小学校の修学旅行で神戸方面に行かれているため、検討いただいた結果、防災学習の一環として、妹背の里で防災キャンプをすることになりました。学校運営協議会の皆さんなどボランティアの方が関わりながら実施されます。

地元密着で地域の知っている大人と関わるという、とても良い取組だと思います。

行先の見直しによって良い結果になったと思っています。

スムーズに行先の変更ができたのかと聞きましたが、一年生の先生に提案したところ好意的に受け止められ、夏休みにも実際にやってみていただいたりされていました。遠くまで出て行って体験するというより自分の生活圏で防災について学ぶという体験をするということは、良いと思います。

私は、家庭教育支援事業に関わっています。この事業は、困っておられるご家庭、子どもを支援するという有意義な事業であると感じております。

しかし、先日、学校の先生から「櫻井さんは、なぜ、時々来られるのか、どういうことをしに来られているか」と聞かれました。

何年もおられる先生でしたが、ご存じないようでした。もちろん校長先生等は、知っておられます。クラスを持っておられる担任の先生や支援員さんからすれば、家庭教育支援事業が何かということを知らないのではないかと思います。

とても良い事業ですが、その事業と一緒に活用する立場の方から広報しなければいけないと感じました。

- 山中学校教育課長 昨日、県のスーパーバイザーに来ていただきて懇談していました。
今年度は、運営委員会を開いていませんが、昨年度までのことと合わせてもう一度整理をして、10月か11月上旬には、運営委員会で示して進めていきたいと考えています。
スーパーバイザーからもお知恵をいただきましたので、お伝えしたいと思います。
- 櫻井委員 県の研修で和歌山県湯浅町の家庭教育支援事業についてお話を聞きました。
その町では、学校教育課と健康推進課から支援員を任命し、連携しながら取り組んでおられます。
- 乳幼児健診の時から支援員が保護者に触れられています。本町では、現在、小学校からの関わりですが、早期の関わりで支援をしてもらえる、知っている人がいる、地域で話ができる大人がいるという環境が作れると地域が変わってくると思います。理想ではありますが、今後の展開でそのように進められたらと思っています。
- 甲津教育長 サポーター連絡会議などでも今のご意見を含めておっしゃっていただきたいと思いますし、より良い方向に発展させていければと思います。
数年前では、無かったこちらから出向いていく支援を生み出してきました。是非、より良い形に発展させていけるよう議論していきたいと思います。
- 続きまして、日程第1 その他 3) 第79回国民スポーツ大会の開催について事務局から説明をお願いします。
- 山中生涯学習課長 (説明)
- 甲津教育長 3日、4日および5日は、午前中すべての競技を見ていただけます。また、3日および4日の午後の競技についてもご覧いただけます。
しかし、5日の午後のリードの決勝は、皇族のお成りがありますので入場を制限しておりエントリーしていただき、当選された方にご覧いただくことになります。
- 谷委員 リード決勝は、何人くらい来られる予定でしょうか。
- 山中生涯学習課長 一般観覧者と関係者（観察員、選手監督やご家族等）を合わせて800人程度の観覧が予定されています。
- 谷委員 お成りについて、子ども達の沿道でのお出迎えは、あるのでしょうか。
- 甲津教育長 日曜日ですので、自由にしていただくということになっています。
小学校の子ども達の競技観覧は、3日で準備しています。
- 櫻井委員 終わった後、会場は、どうなるのでしょうか。すぐに撤収されるのでしょうか。
- 山中生涯学習課長 11月からドラゴンハットを使えるようにする必要があるため、すぐに原状回復します。
- 甲津教育長 皆さんには、是非ご観覧をいただければと思います。
- それでは、日程第 1 その他4) 連絡事項 を事務局から説明をお願いします。
- 奥課長補佐 (説明)
- 甲津教育長 以上、本日の日程は終了いたしましたが、委員のみなさんから何かございますでしょうか。
- 森岡教育次長 新聞報道でもご承知のことと思いますが、甲津教育長は、3期目の任期が10月25日で満了します。引き続き、教育長としてご就任をいただくということで、昨日の議会で同意をいただきました。4期目として、引き続き3年間ご尽力いただくことになりましたので報告

させていただきます。

甲津教育長 引き続きよろしくお願ひいたします。改めて気の引き締まる思いであります。

初心に戻り皆さんのご支援とご協力を賜りながら務めてまいりたいと思います。

来年度の新竜王小学校の開校をしっかりとやりとげていきたいと思います。

それでは、進行を事務局にお返しします。

沖教育総務課長 会議の閉会に当たりまして、谷教育長職務代理者から御挨拶をいただきたいと思います。

谷 委 員 川部委員におかれましては、教育委員の大先輩として様々な側面でご指導いただいたことに感謝申し上げます。長きにわたり、教育分野においてご活躍されたましたことは、我々も真似できなかつたことではないかと思います。

今日の冒頭ありましたように44年ぶりの国スポが開催されます。開会式では、44年前の開会式の映像が流れましたが、レガシーを感じる内容がありました。その後の映像の中で、「うみのこ」の映像がありました。我々の後ろの席からは、「これに乗った」という声が聞こえてきましたし、歌が流れるところは、合唱されておりました。それくらい琵琶湖を中心とした教育プログラムが組まれているのは、滋賀県独自の教育ではないかと感じました。

アスリートたちは、これから戦っていくわけでございます。アトランタオリンピックで金メダルを取られ、バルセロナオリンピックでも銀メダルを取られた古賀稔彦さんは、アスリートは、自分一人で戦っているのではなく、まわりの方々に助けられて勝負に打ち込めるとおっしゃっていました。

開会式では、彦根市の12の小学校が招待されており、47都道府県の方が入場するときに、応援ステイックで歓迎されていました。47都道府県が過ぎるまで一生懸命に歓迎する姿が見られました。記憶にも残りますし、非常によい応援をしてくれたと思いました。

わたしが輝く、みんなが輝く、誰もが輝く、ということで古賀選手のおっしゃる周りの人も輝けるスポーツ大会になればと思っています。

5日に愛子内親王殿下がお見えになりますので、是非みんなで歓迎して心に残る大会にしていただければと思います。

特に山中生涯学習課長におかれましては、長年、裏方としてご尽力され、また、ここにおられる方々もそれぞれの立場で関与いただいたことだと思います。それぞれに感謝を申し上げて閉会とします。

引き続き下期もよろしくお願ひしたいと思います。

沖教育総務課長 ありがとうございました。以上をもちまして、9月の定例教育委員会を閉会させていただきます。